

風通しの良い市政を市民目線で実行

タウンミーティング事業 **継続** 43万円

市民の声を広くお聴きし、より良い市政運営に生かすため、市長タウンミーティングを継続して実施し、「会える市長」「話せる市長」の機会を増やします。

音声認識AI導入事業 **新規** 522万円

事務の省力化・効率化に向け、音声認識AIを活用した会議録の作成業務を行います。



▲2月に行われたタウンミーティングの様子

子育てをするなら藤井寺と言われるまちを実現

病後児保育事業 **新規** 740万円

4月1日から開園するふじみ保育園に事業委託し、新たに病後児保育事業を実施します。

市内公園遊具整備改修事業 **新規** 495万円

市内都市公園に設置している遊具の整備改修を計画的に進めます。

市立幼稚園耐震補強事業、市立幼稚園空調整備事業

継続 7,291万円

市立藤井寺幼稚園及び市立道明寺南幼稚園の耐震補強工事の実施並びに空調設備の整備を行います。



▲市立道明寺南幼稚園



▲市立藤井寺幼稚園

令和2年度 市政運営方針

問合先 政策推進課(6階⑥番窓口) ☎939・1171

昨年5月に、市民の皆様から市長としての付託を受けまして、10か月が経とうとしております。昨年は、「平成」から「令和」の時代となる歴史的に大きな節目を迎える年となりました。このような歴史的な転換期を迎えると同時に、本市におきましても長年の悲願でありました、「百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録され、新たなまちづくりに向けての第一歩を踏み出す節目の年となりました。」

私は、市長就任後、「藤井寺の未来はみんなで作る」という方針のもと、多くの方々の声に耳を傾け、市民の皆様が安心して暮らしていただけるまちづくりを鋭意取り組んでまいりました。

令和2年度は、本市の今後4年間の市政運営の指針となる第五次総合計画後期基本計画の初年度となります。後期基本計画では、まちを取り巻く大きな社会潮流として、人口減少や少子化・高齢化の進行、安全・安心の確保、観光交流の拡大、情報化・デジタル化の進展、SDGsの推進などを掲げており、こうした状況に対応するため、

「参画と協働によるまちづくり」を柱として、災害に強く安心して暮らせるまちの実現と、市内外の方々に「住みたいまち」「訪れたいまち」「住み続けたいまち」と思ってもらえるようなまちづくりを進めてまいります。

行財政運営におきましては、民間活力の導入、公民連携、業務の改善や人材育成など、様々な分野で行財政改革の取り組みを進め、関連する各種計画と整合を図りながら、持続的な発展に資する施策への重点投資を行うてまいりたいと考えております。

また、民間視点でのアイデアやノウハウを計画の立案段階から取り入れながら、市民サービスの向上と効果的な事業運営を図ることや、AIなどの最新テクノロジーの導入による事務事業の効率化などにも取り組んでまいります。

本市はコンパクトな都市であり、従来から地域活動が活発であり、支え合いの精神が盛んな地域で、市民力・地域力が醸成されている強みがあると考えております。私がめざすまちづくりは、行政の力だけでは決して

実現することはできません。市民、民間事業者、団体・NPO、大学等を含めた多様なまちづくりの担い手と、共通の目的に向かつて市民協働・公民連携を行うことで、より良いまちづくりが実現すると考えております。

こうした多様なまちづくり主体との連携により、将来にわたる、まちに活力があり、市民一人ひとりが幸せを実感でき、誰もが住んでいけることを誇りに思える藤井寺市を、皆様と手を携えて実現してまいりたいと存じます。

市政運営方針(全文は、市ホームページ) ↓市長の部屋又は、左のQRコードから



危機管理体制をしっかりと構築

藤井寺市地域防災計画修正事業

新規 1,088万円

防災行政を効果的に進めるため、藤井寺市地域防災計画の修正を行うとともに、南海トラフ地震防災対策推進計画の策定を行います。



藤井寺市国土強靱化地域計画策定事業

新規 812万円

大規模な自然災害の発生に備え、藤井寺市国土強靱化地域計画を策定します。

防災講演会事業 **新規** 46万円

防災の視点がより市民に根付くよう、市主催による防災講演会を行います。



その他の主要施策

橋梁長寿命化事業 **継続** 2,811万円

橋梁の定期点検業務及び橋梁長寿命化修繕計画に基づいた補修工事等を実施します。

省エネ設備更新事業(ESCO事業)

継続 9億2,093万円

(債務負担行為令和2～令和17年度)

光熱水費の削減額を原資の一部として空調更新、LED化など省エネルギー改修事業を行います。

土師ノ里駅前広場ミスト装置設置事業

新規 1,500万円

大阪府の「都市緑化を活用した猛暑対策事業」を活用し、土師ノ里駅前広場にミスト装置を設置します。



観光資源を活かしたまちのにぎわいを創出

世界遺産来訪者対策事業 **継続** 526万円

世界文化遺産となった百舌鳥・古市古墳群への来訪者が情報収集しやすい環境づくりのために、市内Wi-Fiスポットを設置します。

アイセル シュラ ホール活用事業

新規 1,950万円

アイセル シュラ ホールを百舌鳥・古市古墳群の周遊ルート上のシンボリックな拠点施設と位置づけ、観光や商業の振興につながる新たな取組を行います。



観光プロモーション推進事業

継続 506万円

「世界遺産のあるまち藤井寺」として、歴史や文化、イベントなどの地域資源や魅力を発掘し、藤井寺市の知名度をあげるため、動画やSNSを活用した効果的な観光プロモーションを推進します。

まちなか観光創造プラン改定事業

新規 534万円

「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録を契機に、本市を取り巻く状況の変化への対応や来訪者の増加によるまちの活性化などに取り組むため「まちなか観光創造プラン」の改定を行います。



健康で生き生きと暮らせるまちづくりを推進

藤井寺市地域福祉計画策定事業 **新規** 216万円

第4期藤井寺市地域福祉計画を策定し、地域住民が支え合い、誰もが安心して暮らせる福祉の実現を目指します。

障害者計画等策定事業 **新規** 605万円

藤井寺市障害者計画、藤井寺市第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画を策定し、計画的な施策展開を図ります。

地域生活支援拠点緊急入所事業

新規 151万円

在宅の障害者が、主な介助者が入院などで不在となったときに受け入れ対応が可能な体制を充実させます。

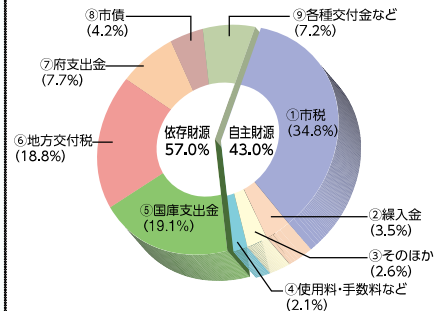


一般会計 歳入歳出総額 237億3,400万円

令和2年度 当初予算

問合先 行政管理局課財政担当(5階⑨番窓口) ☎939・1014

歳入

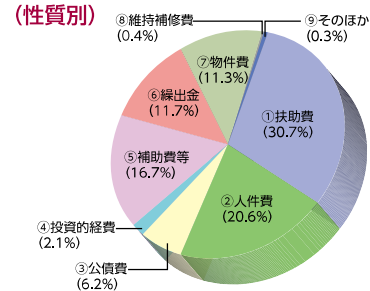


- ①市税** 82億6,402万円
市民の皆さんから納めていただいた税金
- ②繰入金** 8億3,724万円
積み立てた基金(貯金)を取り崩したお金
- ③そのほか** 5億9,359万円
寄附金や財産売却収入など
- ④使用料・手数料など** 4億8,037万円
保育料や施設利用料など、負担いただいた収入
- ⑤国庫支出金** 45億4,133万円
使い方が定められている国からの負担金・補助金
- ⑥地方交付税** 44億5,231万円
使い方が定められていない国からの交付金
- ⑦府支出金** 18億2,390万円
使い方が定められている府からの負担金・補助金
- ⑧市債** 10億850万円
公共施設などの建設や改良のために借入のお金
- ⑨各種交付金など** 17億3,274万円
使い方が定められていない国からの交付金など

自主財源：地方公共団体が自主的に収入できる財源
依存財源：国や府から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入

歳出

(性質別)



- ①扶助費** 72億8,293万円
保育、医療費助成、生活保護など福祉に使うお金
- ②人件費** 48億9,810万円
市職員の給料や議員報酬など
- ③公債費** 14億7,619万円
市債(借金)の元金・利子の返済にかかるお金
- ④投資的経費** 4億8,921万円
道路、庁舎など公共施設の建設や改良にかかるお金
- ⑤補助費等** 39億6,214万円
負担金、補助金など
- ⑥繰出金** 27億7,209万円
国民健康保険や介護保険など他会計への繰出金
- ⑦物件費** 26億8,815万円
光熱水費、消耗品費、業務委託料など
- ⑧維持補修費** 8,775万円
道路、公共施設を維持するためのお金
- ⑨そのほか** 7,745万円
積立金、貸付金及び予備費

※金額は端数処理しているため、合計は一致しません。

歳出の目的別構成比

民生費 100億5,461万円(42.4%) 子育て支援・高齢者福祉などに使うお金	総務費 60億5,119万円(25.5%) 市役所の運営・市税・戸籍などに使うお金	教育費 24億6,808万円(10.4%) 小・中学校・生涯学習などに使うお金
衛生費 17億8,225万円(7.5%) 予防接種やごみ処理などに使うお金	公債費 14億7,619万円(6.2%) 市債(借金)の元金・利子の返済にかかるお金	消防費 8億6,859万円(3.6%) 消防活動・消防組合などに使うお金
土木費 5億4,654万円(2.3%) 市道・公園の整備などに使うお金	議会費 2億1,436万円(0.9%) 市議会の運営のために使うお金	そのほか 2億7,220万円(1.2%) 農業や商工業の振興などに使うお金

一般会計
237億3,400万円
(前年度比 -1.8%)

福祉・医療・教育・道路など、市が行う基本的な事業に関する会計です。

9ページの左右2つの円グラフは、福祉、教育、防災、施設の建設・維持管理などを行う一般会計の予算内容について、歳入(収入)・歳出(支出)それぞれの内訳を示しています。

特別会計
149億972万円
(前年度比 1.8%)

特定の事業を特定の収入によって行うため、一般会計から独立させた会計です。

国民健康保険 76億2,899万円
後期高齢者医療 10億5,965万円
介護保険 61億8,579万円
駐車場 3,529万円

企業会計
110億8,222万円
(前年度比 -5.2%)

民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営している会計です。

水道事業 28億7,802万円
病院事業 28億9,871万円
公共下水道事業 53億 549万円
※企業会計の予算は支出額を記載

予算総額 497億2,594万円 (前年度比 -1.6%)

令和2年度一般会計予算の概要

令和2年度の一般会計予算は、237億3,400万円で、前年度(市長選挙のため6月補正後の予算額)と比較して、4億4,633万円(1.8%)の減少となりました。

歳入

市税は、法人市民税及び市たばこ税では減少が見込まれますが、そのほかは全体的に増加が見込まれ、対前年度比0.1%増の82億6,402万円を計上し、地方消費税交付金は消費税増税の影響を踏まえ、対前年度比28.2%増の13億6,131万円を計上しております。

また、借金である市債は、投資的経費の減による影響などもあり、対前年度比14.6%減の10億850万円を借り入れる予定です。

歳出

歳出については、経済的な性質に着目した「性質別」と、行政目的に着目した「目的別」という2つの見方があります。

性質別に見ると、会計年度任用職員制度の開始に伴い、市職員などの給料、報酬に該当する人件費が48億9,810万円で、対前年度比13.1%の増となった一方、物件費については、上記制度により、これまで物件費として整理していた臨時職員の経費が人件費に振り替わったことなどもあり、対前年度比20.3%減の26億8,815万円となりました。

市の借金を返済するための公債費は、市立小・中学校の耐震補強事業などの元金返済が発生することから、対前年度比7.9%増の14億7,619万円となりました。公共施設などの建設や改良に関する費用である投資的経費は、対前年度比47.5%減の4億8,921万円となりました。

予算とは、1年間の収入と支出の見積もりです。

藤井寺市の予算は、使い道や収入源の違いから、「一般会計」・「特別会計」・「企業会計」の3種類で構成されています。

予算書などの資料は、市役所1階情報交流ひろば「ふらっと」などで閲覧できます。市ホームページでも掲載しています。

市ホームページ➡「市政」➡「市長提出議案」➡「令和2年市議会」➡「令和2年第1回定例会」又は下のQRコードから

